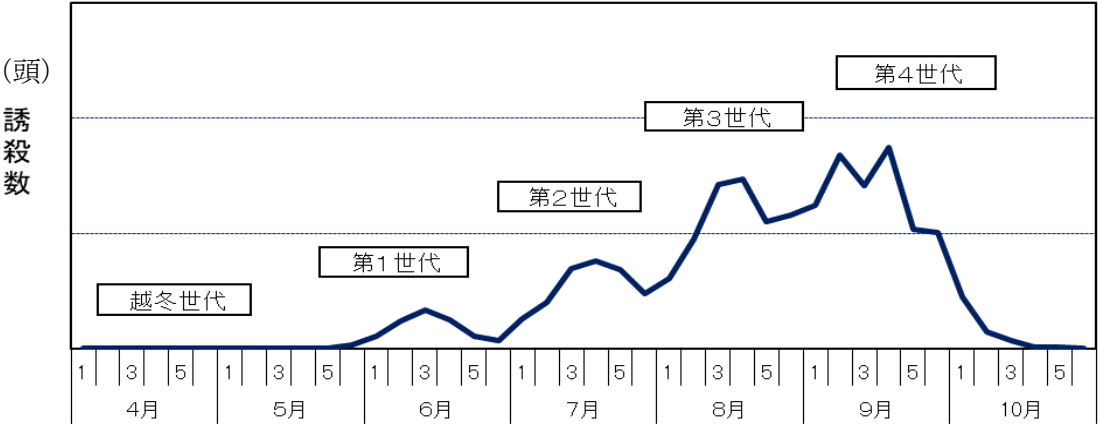


キンモンホソガのフェロモントラップ誘殺消長（令和7年（2025年）調査）

病虫害防除部

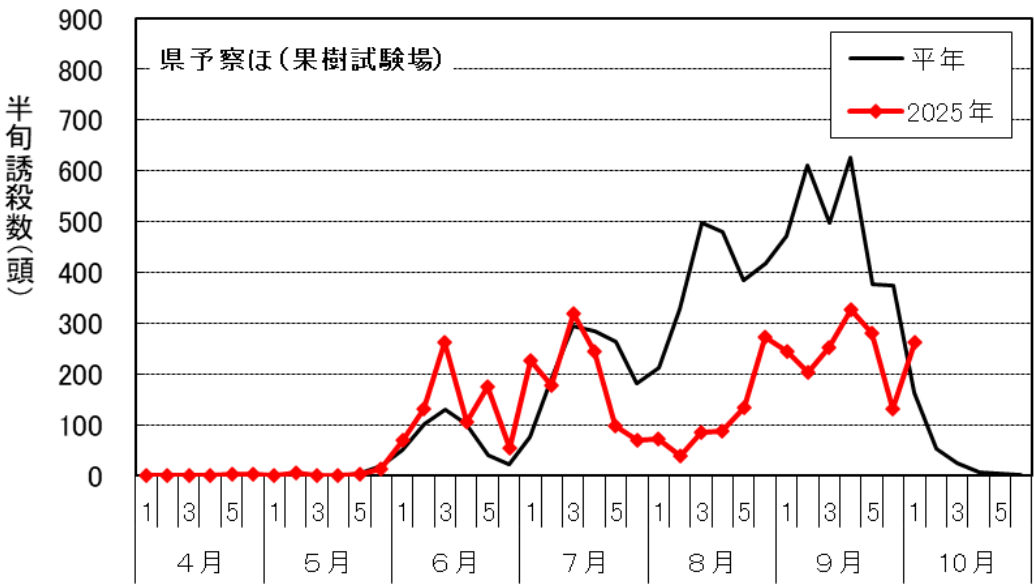
過去10年間の消長模式図（果樹試験場内 県予察ほ）



【発生生態と防除のポイント】

- ・年4～5回発生する。
- ・越冬世代成虫は4月中旬頃、第1世代成虫は5月下旬～6月中旬、第2世代成虫は7月上旬中、第3世代成虫は8月上旬～下旬、第4世代成虫は9月以降に発生する。
- ・第3世代成虫以降は発生が重なり合い、世代の区切りがはっきりしない。
- ・第2、3世代成虫の発生初期にあたる7月上旬、8月上旬が重要な防除時期である。

○県予察ほ（須坂市 果樹試験場）



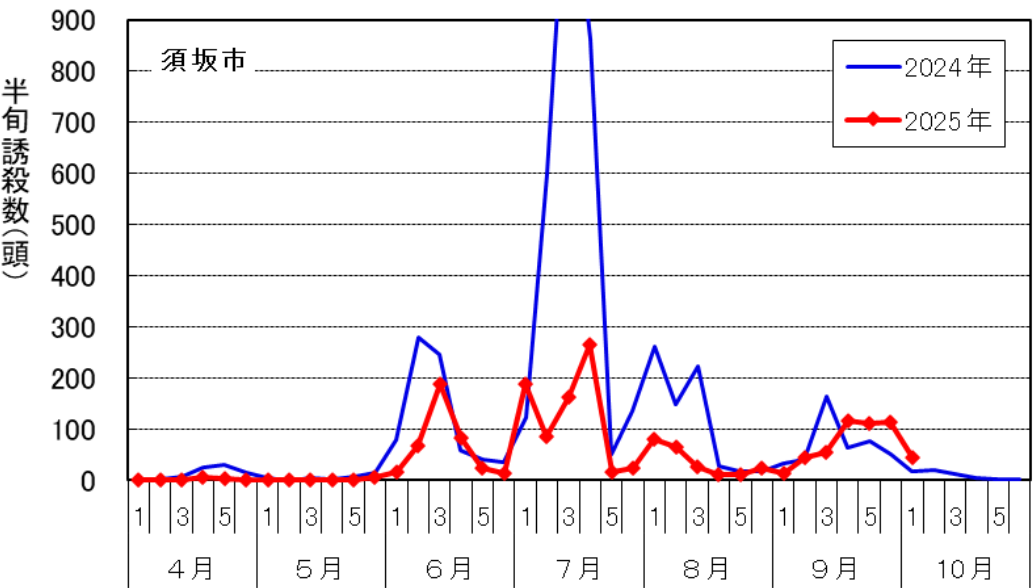
【調査地点】（標高約350m）

- ・須坂市（果樹試験場りんごほ場）
- ・平年は2015年～2024年の平均値

【コメント】

- ・第3世代と第4世代の発生ピークの間隔が、平年よりやや狭くなっている。9月第4半旬が第4世代のピークと考えていたが、10月に入り誘殺数の増加がみられ、発生期間が平年より長くなっていることがうかがわれる。

○須坂市（病虫害防除部調査）



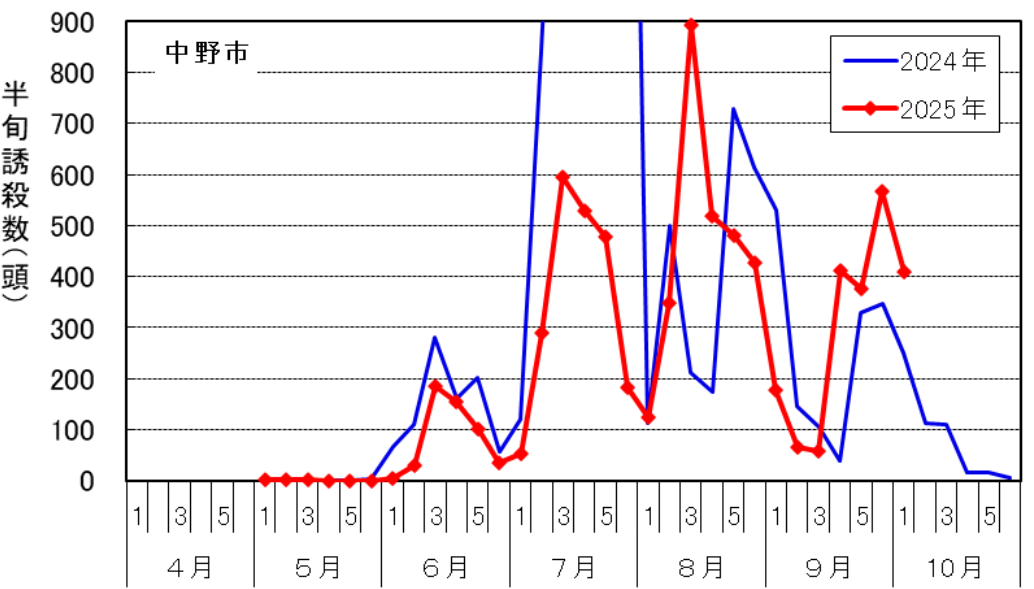
【調査地点】（標高約370m）

- ・須坂市（現地りんごほ場）
- ・2023年には場変更したため、平年値なし。

【コメント】

- ・昨年は9月第3半旬をピークに減少していき終息に向かったが、本年は9月第4半旬から第6半旬時点まで、第4世代成虫の飛来のピークが続いた。

○中野市（病虫害発生予察ほ）



【調査地点】（標高約450m）

- ・中野市（りんごほ場）
- ・2023年には場変更したため、平年値なし。

【コメント】

- ・第4世代成虫の飛来開始は昨年より早く、終了は逆に遅くなると思われる。ピークになるとと思われる9月末の誘殺頭数は昨年より多くなっている。このまま減少が続けば、本地点の今年度の飛来は終息に向かう。